

第8学年 音楽科

	単 元	観 点	評 価 項 目	時 数
1 学 期	歌詞の内容や全体の響きを生かして	音楽への関心・意欲・態度	歌詞の内容や曲想、言葉の特性、声部の役割と全体の響きとの関わりに関心をもち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	5
		音楽表現の創意工夫	音楽的な諸要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想を味わい、言葉の特性や、声部の役割と全体の響きとの関わりを理解して音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。	
		音楽表現の技能	歌詞の内容や曲想、言葉の特性、声部の役割と全体の響きとの関わりを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。	
		鑑賞の能力		
	旋律の表れ方や重なり方を理解して	音楽への関心・意欲・態度	音楽の構造と曲想との関わりや、音楽の特徴とその背景となる歴史との関連に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	3
		音楽表現の創意工夫		
		音楽表現の技能		
		鑑賞の能力	音楽の諸要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽の構造と曲想と関わりや、音楽の特徴をその背景となる歴史と関連付けて理解して、解釈したり価値を考えたりし鑑賞している。	
	歌詞と音楽との関わり	音楽への関心・意欲・態度	歌詞の内容や曲想、言葉の特性やリコーダーの基礎的な奏法に関心をもち、それらを生かして歌ったり演奏したりする学習に主体的に取り組もうとしている。	5
		音楽表現の創意工夫	音楽的な諸要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想を味わって、言葉の特性を理解しリコーダーの基礎的な奏法を生かした音楽表現を工夫し、どのように歌ったり演奏するかについて思いや意図をもっている。	

		音楽表現の技能	歌詞の内容や曲想を生かし、言葉の特性やリコーダーの基礎的な奏法を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌ったり演奏したりしている。	
		鑑賞の能力		
声部の役割を生かして		音楽への関心・意欲・態度	曲想や声部の役割と全体の響きとの関わりに関心をもち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	6
		音楽表現の創意工夫	音楽的な諸要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲想を味わい声部の役割と全体の響きとの関わりを理解して音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。	
		音楽表現の技能	曲想や声部の役割と全体の響きとの関わりを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。	
		鑑賞の能力		
音楽の構成の仕方を理解して		音楽への関心・意欲・態度	音階の特徴、反復、変化、対照などの構成、音楽の構造と曲想との関わりに関心をもち、それらを生かして音楽表現を工夫して旋律をつくる学習や鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	4
		音楽表現の創意工夫	音楽的な諸要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音階の特徴、反復、変化、対照などの構成を生かすなどして音楽表現を工夫し、どのように旋律をつくるかについて思いや意図をもっている。	
		音楽表現の技能	音階の特徴、反復、変化、対照などの構成を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて旋律をつくっている。	
		鑑賞の能力	音楽的な諸要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽の構造と曲想との関わりを理解して、解釈したりし、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	
		音楽への関心・意欲・態度	音楽の構造と曲想との関わりや、音楽の特徴と他の芸術との関連に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	
		音楽表現の創意工夫		

	オーケストラの豊かな表現	音楽表現の技能		3
		鑑賞の能力	音楽的な諸要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽の構造と曲想との関わりや音楽の特徴を他の芸術と関連づけて理解して、解釈したり価値を考えてたりし鑑賞している。	
	音楽の構成を工夫して	音楽への関心・意欲・態度	音素材の特徴、反復、変化、対照などの構成や全体のまとまり、音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりに関心をもち、音楽表現を工夫しながら音楽をつくる学習や鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	3
		音楽表現の創意工夫	音楽的な諸要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽で表現したいイメージをもち、音素材の特徴を生かし、反復、変化、対照などの構成や全体のまとまりを工夫し、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	
		音楽表現の技能	音素材の特徴を生かし、反復、変化、対照などの構成や全体のまとまりを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて音楽をつくっている。	
		鑑賞の能力	音楽的な諸要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを理解して、解釈したり価値を考えたりして、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	
3 学期	雅楽の豊かな表現を 味わいながら	音楽への関心・意欲・態度	楽器の特徴と基礎的な奏法、声部の役割と全体の響きとの関わり、音楽の特徴と他の芸術との関連、我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の多様性に関心をもち、それらを生かして演奏する学習や鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	6
		音楽表現の創意工夫	音楽的な諸要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、楽器の特徴や声部の役割と全体の響きとの関わりを理解し、基礎的な奏法を生かした音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	

	音楽表現の技能	楽器の特徴や声部の役割と全体の響きとの関わり、基礎的な奏法を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて演奏している。	
	鑑賞の能力	音楽的な諸要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽の特徴を他の芸術と関連付け、我が国の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴から音楽の多様性を理解して、解釈したり価値を考へてたりし鑑賞している。	
			35